文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属　区民部区民課庶務担当
問合せ先　03 － 5803 － 1169

1 補助金の名称等

6年度調査

補助金の名称	コミュニティバス運行事業補助金								
根拠規定等	文京区コミュニティバスの運行に関する協定書、 文京区コミュニティバス第二路線の運行に関する協定書、 文京区コミュニティバス第三路線の運行に関する協定書、 文京区コミュニティバス運行事業補助金交付要綱								
創設年月	平成	19	年	3	月	経過年数〔自動計算〕	17年	終了予定年月	
見直し年月	令和	6	年	4	月	経過年数〔自動計算〕	0年		
見直しの内容	・交付時期を「上半期完了後」から「交付決定通知後」に変更 ・補助金額の算定方法を「路線ごと」から「全路線合計」に変更								

予算科目	款	項	目	大事業	中事業	計画事業番号
	3区民費	1区民行政費	1区民行政総務費	16コミュニティバス運行	1コミュニティバス運行	193

補助金の種別：☑ 奨励的補助　☐ 施設運営補助　☐ 扶助的補助　☐ 投資的補助　☐ 利子補給

2 補助金の概要

補助目的	コミュニティバスの安定的な運行を推進するため
補助事業等の内容	文京区との協定に基づいて実施されるコミュニティバス運行事業
補助対象経費の内容	補助金の交付の対象となる経費は、運行事業に要する経費のうち、区長が認めたものとする。
補助事業者等	☐ 区民　☐ 地域活動団体　☐ NPO（特定非営利活動団体）☑ 事業者　☐ その他 〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕 日立自動車交通株式会社
補助金の算出	☐ 定率（補助率　　）　☐ 定額（補助額　　） ☐ 補助単価（補助単価　　単位　　）　☑ その他 〔その他の場合は具体的に記入〕 運行事業者の、各年度のコミュニティバス運行にかかる収支実績に基づき、赤字額を補助 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕
公募の状況	プロポーザルにより決定したバス運行事業者に対して補助しているため、補助金の申請に係る公募は行っていない。
実績報告書時における使途の確認方法	☑ 領収書　☑ 契約書　☑ 決算書　☐ 成果物　☐ その他（　　）

補助・単独の状況		負担割合	区	国	都	補助対象者
	☑ 区単独					
	☐ 補助（区上乗せ無し）	上乗せの内容・理由				
	☐ 補助（区上乗せ有り）					

3 交付実績

（件、千円）

項目	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（予算）
交付（見込み）件数	3	3	3	1
決算（予算）額	70,662	76,283	68,743	174,731
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	70,662	76,283	68,743	174,731
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準〔○：適合、△：適合しているが課題あり、×：不適合、－：非該当〕

項目	内容	判定	判定の理由（△、×の場合のみ記載）
必要性（公益性）	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性（有効性）	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性（適格性）（妥当性）※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	定員の少ない小型車両を使用し、都バス等が進入できない狭隘道路での運行を可能にすることで、交通不便地域の解消に寄与した。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時乗車人数は減少したが、徐々に回復傾向を見せ、令和5年度には累計乗車人数が1,200万人を突破した。
課題	利用者を増やすことによる運賃収入増加には一定の限界があり、行政の補助に頼らない、安定した事業を継続するために、運賃外収入の増加が必要となる。
今後の方向性	当該補助金は赤字補填的な性質があるため、今後、補助金額の削減を図るに当たり、協賛金をはじめとした広告収入の増加により、補助事業者の営業収入を増やしていく必要がある。